



印刷設定マニュアル

株式会社 スカイコム

はじめに

本書は、SkyPDF V4 Driver（以下、本ドライバー）の製品概要、設定方法および使用方法を説明するものです。本ドライバーをご使用の際には、本書をご参照の上、正しくお使いください。

注意事項

本ドライバーは、株式会社スカイコム（以下、当社）が開発した製品です。

当社の書面による事前の許可なしに本書および本ドライバーについて複製・保存・転送を行うことは、いかなる形式・手段であっても禁止されています。

本ドライバーを輸出する場合には、外国為替、外国貿易法および米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

免責事項

本書は、本書に記載される内容があくまでも参照用としてのみ用いられること、製品の改良等に伴い予告なしに変更されることを前提として提供されるものです。本書における誤りや欠落、不正確な記述について、当社は一切責任を負いません。

当社は本書が提供する情報について、その完全性、正確性、有用性、特定目的適合性、第三者の権利の非侵害性等を一切保証せず、またこれらを調査する義務を負わないものとします。

当社はライセンス使用許諾契約書に従って製品保証を提供しており、本書に基づく保証は行っておりません。したがって、本書の利用あるいは利用できなかったことにより生じたいかなる損害についても、当社は義務や責任を負うものではありません。

あらかじめご了承ください。

商標情報

- 主な商標情報は別紙に記載しています。（別紙参照：ユーザーマニュアル(0.はじめに)）
- その他本書に記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。

目次

はじめに	2
目次	3
用語集	4
1 機能概要	5
2 印刷エラー	6
2.1 メッセージダイアログで通知する場合	6
2.2 Windows ログで通知する場合	7
3 設定画面	8
3.1 設定画面の起動方法	9
3.2 【基本】出力設定	12
3.3 【レイアウト】ページ設定	15
3.4 【レイアウト】すかし	16
3.5 【品質】画質	20
3.6 【品質】ファイルサイズ	22
3.7 【フォント】埋め込み設定	23
3.8 【セキュリティ】セキュリティ設定	24
3.9 【文書設定】文書情報	30
3.10 【文書設定】規格	31
3.11 【文書設定】ビューワプレファレンス	34
3.12 【タイムスタンプ】タイムスタンプ設定	37
3.13 【製品情報】バージョン情報	42
3.14 【製品情報】UI 設定	43
4 制限・注意事項	44
4.1 印刷設定画面の起動に関する事項	44
4.2 出力設定に関する事項	44
4.3 PDF 規格に関する事項	44
4.4 品質に関する事項	45
4.5 OS の機能に関する事項	45
4.6 ハイパーリンクに関する事項	46

用語集

本書における主な用語の定義をご説明します。

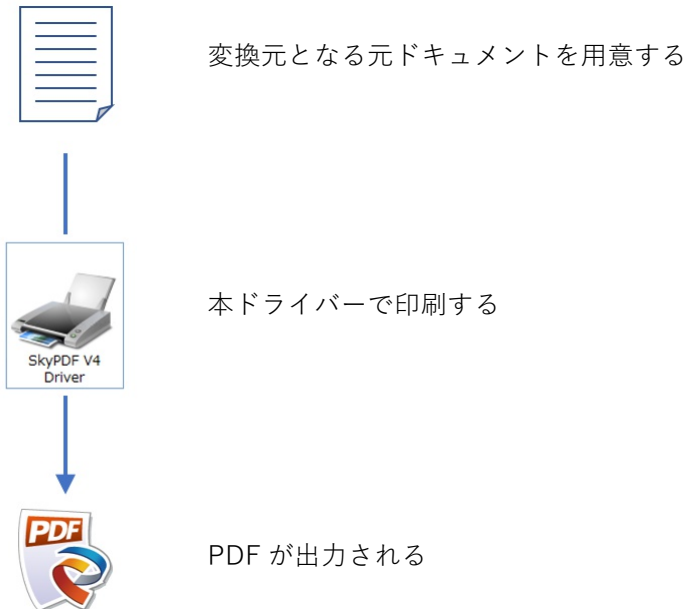
- ※ 本書では、一般的な用法/解釈とは異なる意味で使用している用語もあります。
本書をご使用の際の定義としてご理解ください。

キーワード	解説
コントロールパネル	コンピュータや WindowsOS の各種設定を行うための機能 スタートメニューのアプリ一覧の中の [Windows システムツール] または [Windows ツール] に含まれる
デバイスとプリンター	OS にインストールされているプリンターの一覧 コントロールパネルの [デバイスとプリンター] または [デバイスとプリンターの表示] から開く ※ OS によっては、コントロールパネルの「デバイスとプリンター」の他に、スタートメニューの [設定] - [(Bluetooth と) デバイス] - [プリンターとスキャナー] でも同様のデバイス管理画面を開くことができます。「デバイスとプリンター」ではプリンター右クリックから行う操作は、「プリンターとスキャナー」ではプリンターを選択すると表示される各種メニューから操作してください。
Word	別紙「ユーザーマニュアル(0.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office Word を指す
Excel	別紙「ユーザーマニュアル(0.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office Excel を指す
PowerPoint	別紙「ユーザーマニュアル(0.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Office PowerPoint を指す
Visio	別紙「ユーザーマニュアル(0.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された Microsoft Visio を指す
Office	Word、Excel、PowerPoint の 3 つを指す Visio は含まない
Office アドイン機能	Office のリボンに本ドライバーのアイコンを登録する機能
一太郎	別紙「ユーザーマニュアル(0.はじめに)」に動作確認済みアプリケーションとして記載された一太郎を指す
元ドキュメント	本書では、本ドライバーを使用して PDF 化する前の文書ファイルを指す
PDF/A	PDF/A-1b、PDF/A-2b、PDF/A-3b の規格に準拠した PDF を指す
PDF/X	PDF/X-1a:2001、PDF/X-1a:2003 の規格に準拠した PDF を指す
UWP アプリ	ユニバーサル Windows プラットフォームアプリ OS 標準搭載の一部のアプリや Microsoft Store からインストールしたアプリ

1 機能概要

本ドライバーは、Microsoft のプリンタードライバーアーキテクチャー バージョン 4 に基づく新しいドライバーです。様々なアプリケーションで作成した様々な形式のファイルを PDF に変換することができます。

印刷機能を使って PDF を作成する



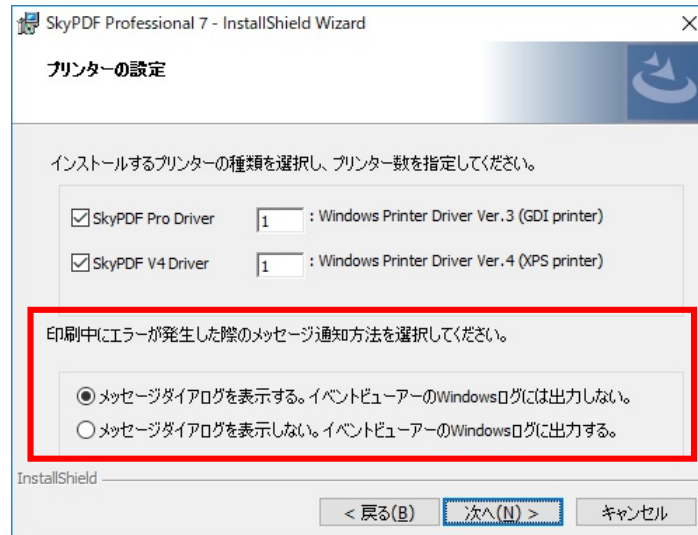
作成する PDF については印刷設定画面から設定する



2 印刷エラー

本ドライバーは、様々なアプリケーションで作成したドキュメントを、印刷と同様の手順で PDF に変換することができます。

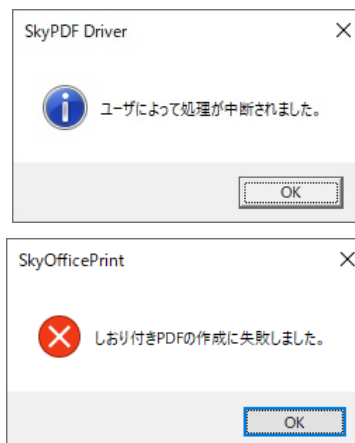
印刷中にエラーが発生した場合は、インストール時に下図の箇所を設定した方法でエラーメッセージを通知します。



2.1 メッセージダイアログで通知する場合

メッセージダイアログで通知するよう設定してインストールした場合、印刷実行中にエラーが発生すると、画面にメッセージダイアログが表示されます。

メッセージ内容を確認し、[OK] または右上の [X] を押してダイアログを閉じてください。

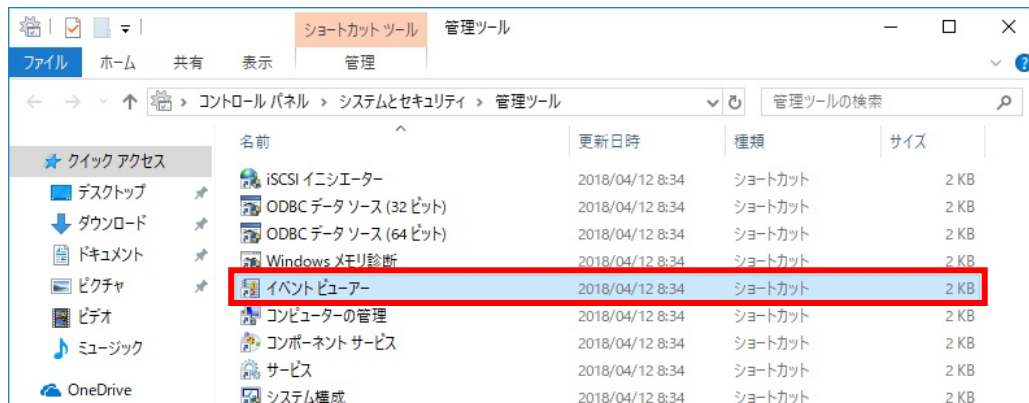


2.2 Windows ログで通知する場合

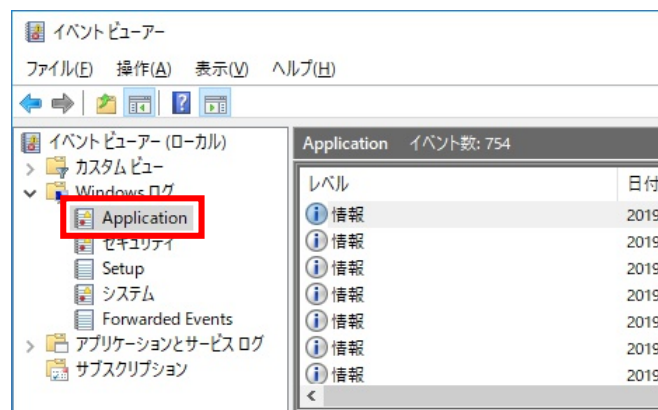
メッセージダイアログは表示せず、システムイベントの Windows ログに登録するよう設定してインストールした場合、印刷中のエラーは OS の「イベント ビューアー」で確認してください。

1. [コントロールパネル] (－ [システムとセキュリティ]) － [管理ツール] ※などから [イベント ビューアー] を開きます。

※ OS によっては [管理ツール] ではなく [Windows ツール] の場合があります。



2. [Windows ログ] の [Application] を開きます。

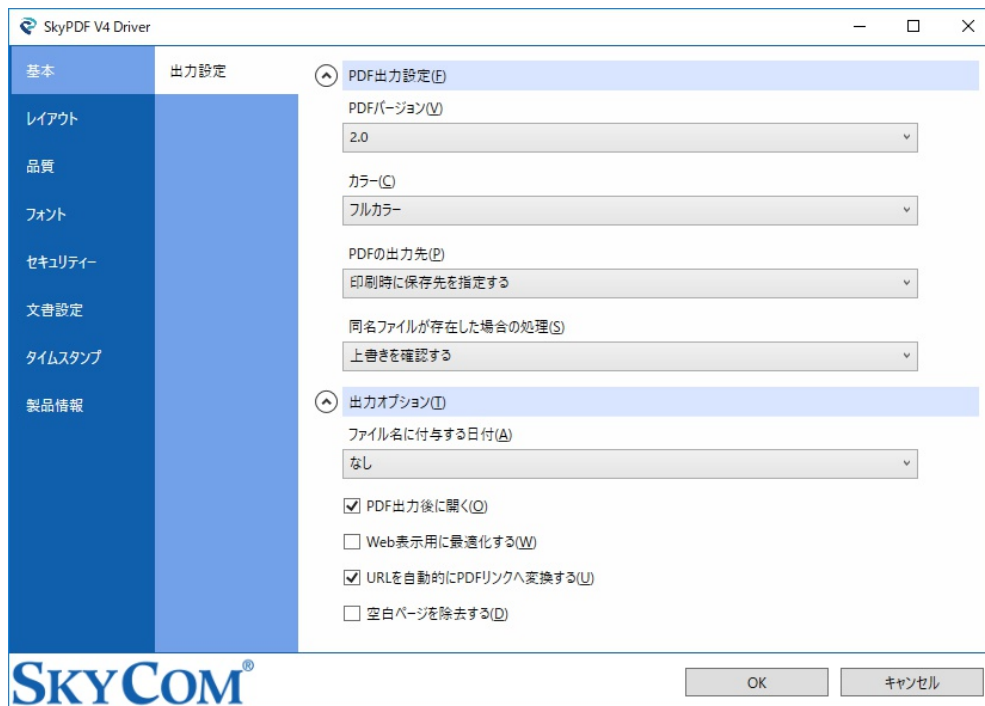


3. エラー内容を確認します。

レベル	エラー
ソース	SkyPDF V4 Driver
イベント ID	3
情報	<p>Message:</p> <p>エラー事由</p> <p>Reference information:</p> <p>Printer Name: プリンター名</p> <p>Doc Info Name: <i>DOCINFO</i> 構造体にて渡されたドキュメント名</p> <p>PDF File Name: <i>PDF</i> ファイル出力先パス</p> <p>Job ID: ジョブ ID</p>

3 設定画面

本ドライバーの各種設定は、設定画面から行います。



設定画面では、以下のような設定の変更と確認が可能です。

設定メニュー		詳細
基本	出力設定	参照： 3.2 【基本】出力設定
レイアウト	ページ設定	参照： 3.3 【レイアウト】ページ設定
	すかし	参照： 3.4 【レイアウト】すかし
品質	画質	参照： 3.5 【品質】画質
	ファイルサイズ	参照： 3.6 【品質】ファイルサイズ
フォント	埋め込み設定	参照： 3.7 【フォント】埋め込み設定
セキュリティ	セキュリティ設定	参照： 3.8 【セキュリティ】セキュリティ設定
文書設定	文書情報	参照： 3.9 【文書設定】文書情報
	規格	参照： 3.10 【文書設定】規格
	ビューワプレファレンス	参照： 3.11 【文書設定】ビューワプレファレンス
タイムスタンプ	タイムスタンプ設定	参照： 3.12 【タイムスタンプ】タイムスタンプ設定
製品情報	バージョン情報	参照： 3.13 【製品情報】バージョン情報
	UI 設定	参照： 3.14 【製品情報】UI 設定

3.1 設定画面の起動方法

本ドライバーの設定画面を起動する方法は複数あり、どこから起動するかによって設定の適用範囲が異なります。

3.1.1 アプリケーションの印刷画面から起動する方法

アプリケーションの印刷画面を開き、プリンターに本ドライバーを設定して [プリンターのプロパティ] ※を押すと、本ドライバーの設定画面が開きます

※ 右図の例（Microsoft Word 2016）では [プリンターのプロパティ] ですが、Windows 標準の「メモ帳」では [詳細設定]、一太郎では [プロパティ] など、アプリケーションによって名称が異なります。



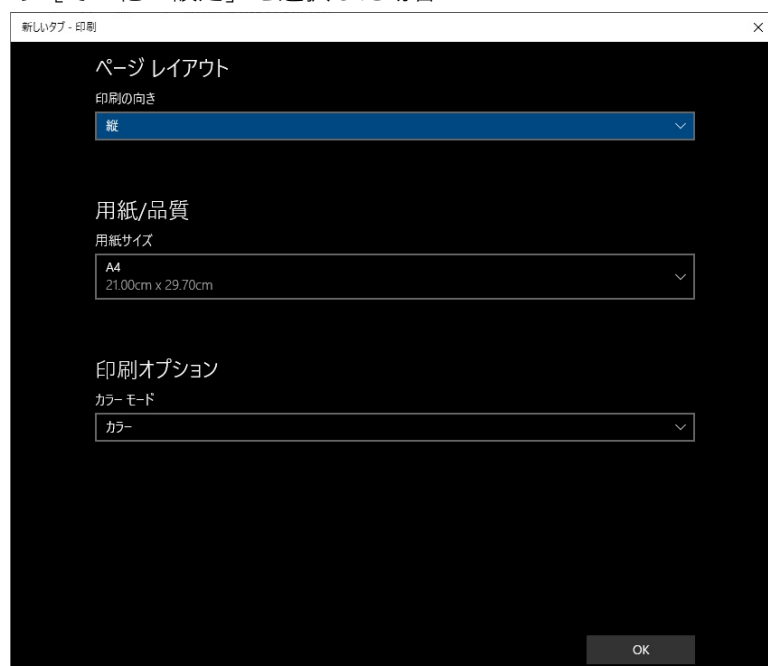
表示された設定画面で設定を変更し、[OK] を押せば、このアプリケーションから行う印刷に対し設定内容が適用されます。

ここで行った設定は一時的な設定であり、アプリケーションの終了と同時にリセットされます。

※ Excel の場合は、ファイルごとに印刷設定を保存する Excel の仕様により、アプリケーションを終了しても設定内容がファイルに保存されている場合があります。

UWP アプリの印刷画面から設定する場合は、下図のような OS 標準の設定画面が起動します。この設定画面に表示されていない項目は、後述する他の方法で設定画面を起動すると設定できます。

（例）印刷画面から [その他の設定] を選択した場合



3.1.2 セットアップまたは Setting アイコンから起動する方法

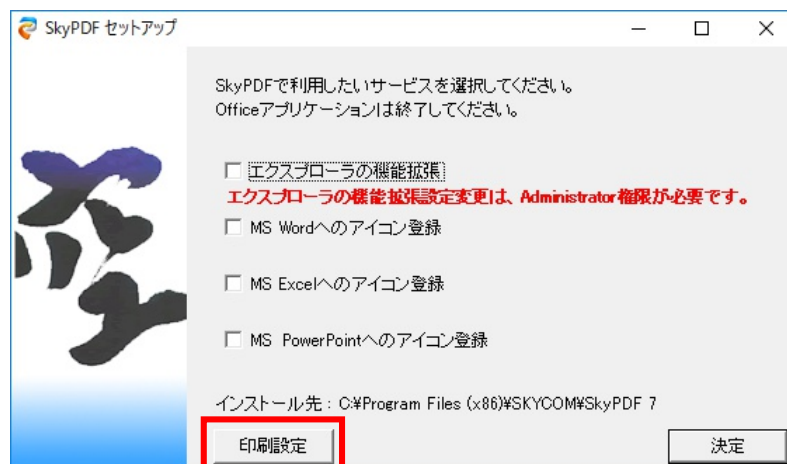
本ドライバーは、Word / Excel / PowerPoint に対しアイコン登録を行うことができます。

アイコンを登録するための SkyPDF セットアップと、アイコン登録後の Setting アイコンからも、本ドライバーの設定画面を起動することが可能です。

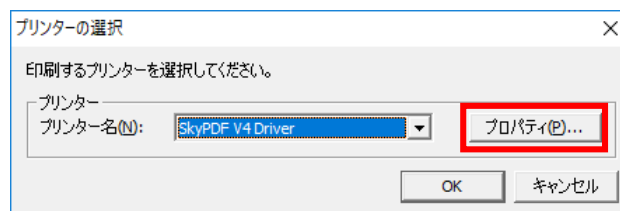
ここで行った設定は永続的な設定であり、どのアプリケーションから使用しても常に適用されます。
また、設定内容は、Windows のユーザーアカウントごとに保存されます。

SkyPDF セットアップ

1. スタートメニューのアプリ一覧から [SkyPDF Driver] を選択すると、SkyPDF セットアップが起動します。
2. [印刷設定] を押すと、プリンターの選択画面が表示されます。



3. プリンターを選択し [プロパティ] を押すと、設定画面を開くことができます。



4. [OK] を押すと、選択したプリンターが Office アドインで使用するプリンターとして登録されます。

Office アドインの Setting アイコン

アイコン登録を行っている場合、Office アプリケーションのリボンに [SkyPDF] タブが追加されます。

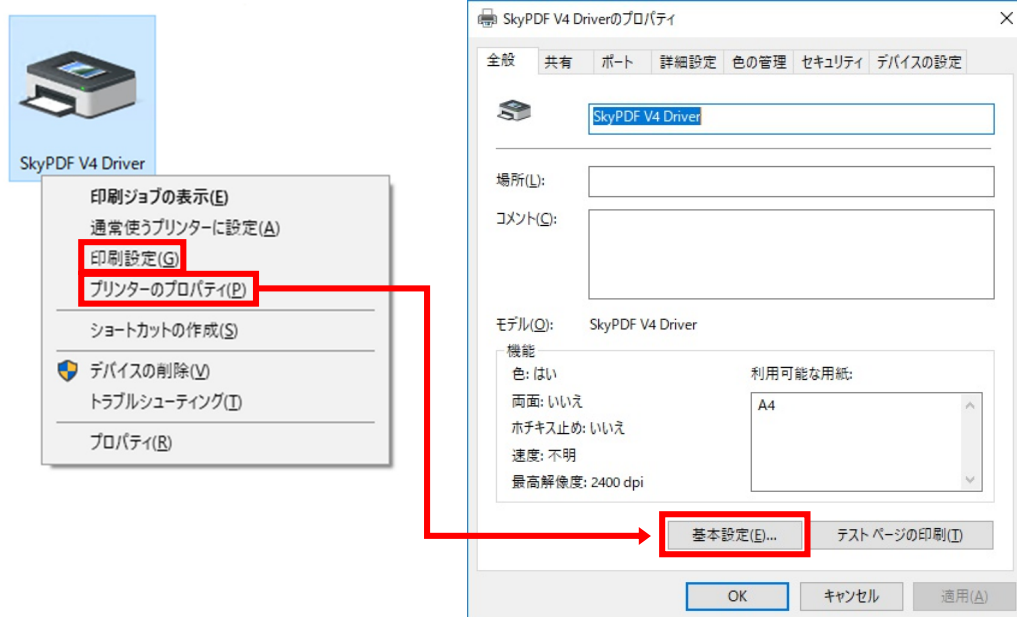
[SkyPDF] タブの [Setting] をクリックすると、上記 SkyPDF セットアップで選択したドライバーの設定画面を開くことができます。



3.1.3 コントロールパネルから起動する方法

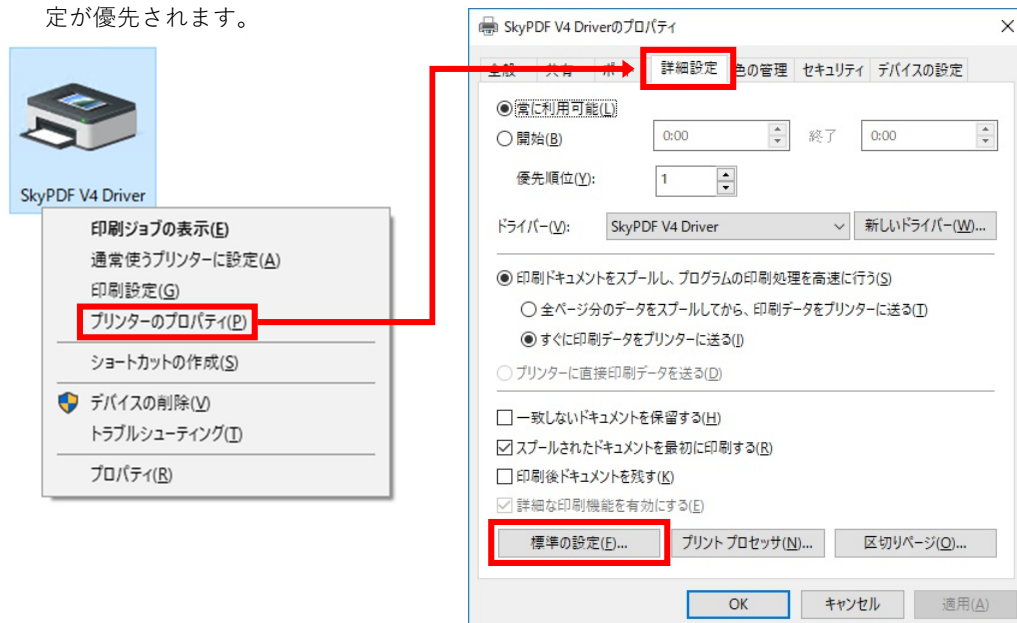
本ドライバーは、コントロールパネルの「デバイスとプリンター」から設定を変更できます。
ここで行った設定は永続的な設定であり、どのアプリケーションから使用しても常に適用されます。

1. デバイスとプリンター（参照：[用語集](#)）を開きます。
2. プリンターの一覧の中から本ドライバーを右クリックし、「印刷設定」または「プリンターのプロパティ」を選択します。
 - a. Windows のユーザーアカウントごとに設定する場合
「印刷設定」、または、「プリンターのプロパティ」－「基本設定」を選択します。



- b. Windows のユーザーアカウントすべてのデフォルト設定を変更する場合
「プリンターのプロパティ」－「詳細設定」タブ－「標準の設定」を選択します。

※ b はデフォルト設定を変更するものです。a の方法で設定を変更したユーザーアカウントは、a の設定が優先されます。



3. 表示された設定画面で設定を変更し「OK」を押せば、次回から設定内容が適用されます。

3.2 【基本】出力設定

設定画面の「基本」メニューにある「出力設定」の各項目について説明します。



3.2.1 PDF 出力設定

PDF バージョン

出力する PDF のバージョンを変更できます。PDF のバージョンによって設定できる機能に差があります（下表参照）。また、出力した PDF は、その PDF バージョンや設定した機能に対応した PDF ビューアーで表示してください。

◎：設定必須 ○：設定可 ×：設定不可 記載の無い機能：影響無し

機能		PDF バージョン					
カテゴリ	設定項目	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	2.0
すかし	すかしの種類 [PDF]	×	×	○	○	○	○
	透過率 0～99%	×	○	○	○	○	○
	透過率 100%	○	○	○	○	○	○
画質	カラー/グレースケール画像圧縮方法 [JPEG2000]	×	×	○	○	○	○
ファイルサイズ	構造情報の圧縮	×	×	○	○	○	○
	オブジェクトの圧縮	×	×	○	○	○	○
セキュリティ設定	セキュリティの種類 [PKI]	×	×	○	○	○	○
	暗号化レベル [128bit RC4]	○	○	○	○	○	×
	暗号化レベル [128bit AES v2]	×	×	×	○	○	×
	暗号化レベル [256bit AES]	×	×	×	×	○	○
	スクリーンリーダーデバイスのテキストへのアクセスを許可する	○	○	○	○	○	◎
規格	準拠する規格 [PDF/A-1b]	○	○	×	×	×	×

	準拠する規格 [PDF/A-2b]	○	○	○	○	○	×
	準拠する規格 [PDF/A-3b]	○	○	○	○	○	×
	準拠する規格 [PDF/X-1a:2001]	○	×	×	×	×	×
	準拠する規格 [PDF/X-1a:2003]	○	○	×	×	×	×
ビューワプレファレンス	印刷時にスケーリングの設定を変更させない	×	×	×	×	×	○

PDF バージョン以外の各項目

項目	説明
カラー	PDF のカラー設定
フルカラー	元ドキュメントの色を変更せずに PDF に変換する
グレースケール	元ドキュメントの色にかかわらず、グレースケールの PDF に変換する ※ この設定は PDF のすかしには適用されません。グレースケールではない PDF をすかしとした場合、すかしのみ元の色で出力されます。（参照： 3.4.3 PDF ）
PDF の出力先	PDF の出力先は、毎回ダイアログを表示して選択するか、あらかじめ出力先フォルダーを設定しておくことが可能
印刷時に保存先を指定する	PDF 変換毎に、保存先とファイル名を指定して出力する ※ メッセージダイアログ非表示でインストールした場合は設定できません。
デスクトップ	デスクトップに出力する ファイル名は元ドキュメント名となる
マイドキュメント	マイドキュメントに出力する ファイル名は元ドキュメント名となる
カスタム	任意のフォルダーに出力する ファイル名は元ドキュメント名となる ※ [カスタム] を選択するとフォルダー選択欄が表示されます。フォルダーパスを直接入力するか、[...] を押してフォルダーを選択してください。
同名ファイルが存在した場合の処理	[PDF 出力先] で出力先フォルダーを指定していた場合、出力先フォルダーに同名ファイルがあったときどのような処理を行うかを設定できる
上書きを確認する	「○○○.pdf は既に存在します。上書きしますか?」と確認メッセージを表示する [いいえ] を選択すると、PDF の出力先として [印刷時に保存先を指定する] 設定時は保存先とファイル名を変更するダイアログが表示され、[デスクトップ] [マイドキュメント] [カスタム] 設定時は、印刷をキャンセルする ※ メッセージダイアログ非表示でインストールした場合は設定できません。
上書きする	警告メッセージ無しで、既存の同名ファイルに上書きする
ファイル名に連番を付与する	ファイル名の後に、連番を付けて別名保存する (例) 「ABC.docx」を連続して 3 回 PDF 変換した場合 1 回目: 「ABC.pdf」、2 回目: 「ABC1.pdf」、3 回目: 「ABC2.pdf」
既存ファイルの末尾に追加する	既存の同名ファイルの最終ページ以降に続けて追加する ※ 既存のファイルにパスワードによるセキュリティが設定されている場合、同じパスワードで同等以上の暗号化レベルが設定されていないと、追加できません。 また、セキュリティ設定は追加時の設定で上書きされます。 ※ 既存のファイルに PKI によるセキュリティが設定されている場合、追加できません。

3.2.2 出力オプション

項目	説明
ファイル名に付与する日付	出力する PDF のファイル名の末尾に、半角のアンダーバーを挟んで、出力日時を付与できる
なし	ファイル名に日付を付与しない (例) Example.pdf
yyyymmdd (年月日)	ファイル名に年月日を付与する (例) Example_20200724.pdf
yyyymmddhhmmss (年月日時分秒)	ファイル名に年月日時分秒を付与する (例) Example_20200724172959.pdf
yyyymmddhhmmssfff (年月日時分秒ミリ秒)	ファイル名に年月日時分秒ミリ秒を付与する (例) Example_20200724172959999.pdf
PDF 出力後に開く	PDF 出力完了後、自動的に PDF ビューアーで開く ※ メッセージダイアログ非表示でインストールした場合は設定できません。
Web 表示用に最適化する	Web 上で表示するのに最適な構成で PDF を作成する ※ ページ単位でダウンロードできるため表示時間の短縮に有効です。 ※ セキュリティーと同時に設定することはできません。
URL を自動的に PDF リンクへ変換する	元ドキュメント内にある「http://」「https://」「ftp://」「mailto:」で始まる文字列と「xxx@xxx.xxx」形式で記載される文字列は、PDF 化の際にハイパーリンクに変換する ※ PDF/X と同時に設定することはできません。
空白ページを除去する	元ドキュメント内に含まれている空白ページを自動的に削除して PDF を作成する ※ PowerPoint ファイルの場合は適用されません。 ※ Word ファイルの場合、改行や改ページで作成した白紙ページは削除されません。

3.3 【レイアウト】 ページ設定

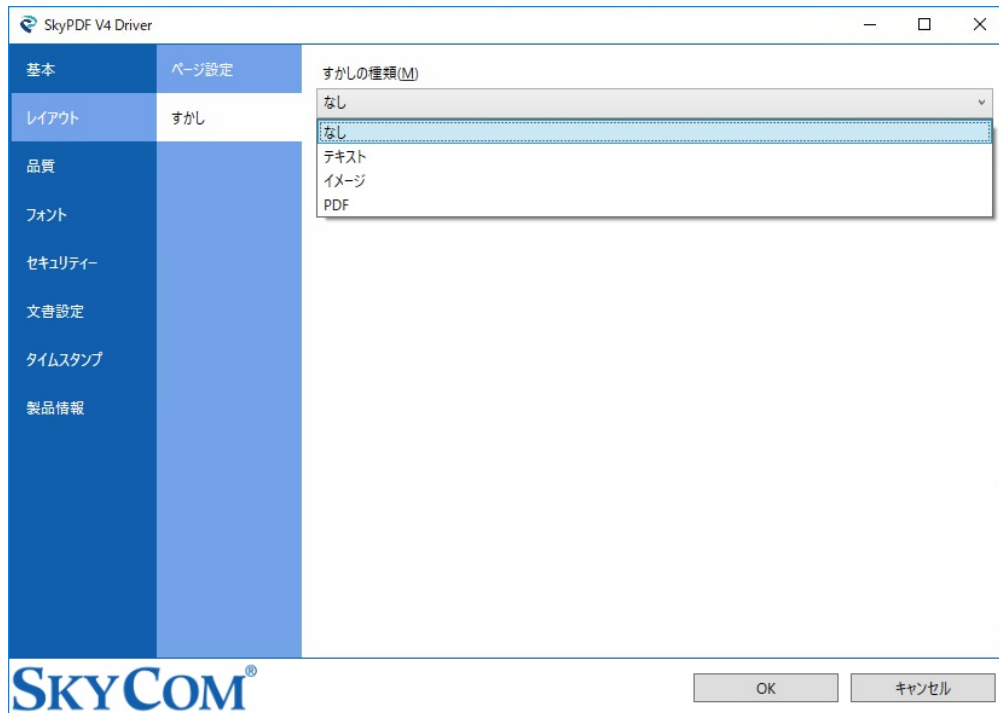
設定画面の【レイアウト】メニューにある【ページ設定】の各項目について説明します。



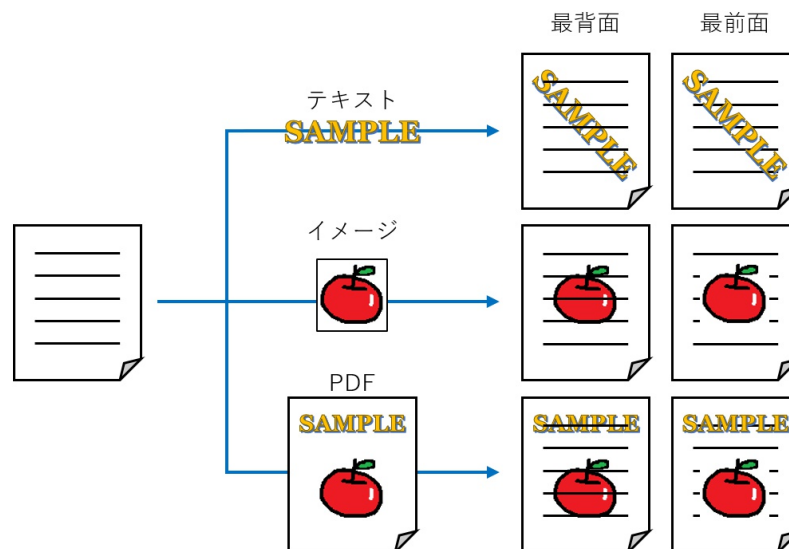
項目	説明
用紙サイズ	選択可能な定型の用紙サイズ
ユーザー定義	〔幅〕 × 〔高さ〕（単位：mm）で指定した用紙サイズ
用紙の向き	<p>〔縦〕 は、用紙サイズの持つ〔幅〕を横の辺、〔高さ〕を縦の辺とした用紙の向き 〔横〕 は、用紙サイズの持つ〔高さ〕を横の辺、〔幅〕を縦の辺とした用紙の向き</p>
左上からのオフセット	<p>用紙の上端と左端の余白</p> <p>※ 設定した余白は、元ドキュメントに対してアプリケーションから指定した余白に加算されます。そのため、アプリケーションでの設定と併用すると、アプリケーションでの表示より右下に移動し、用紙サイズからはみ出した部分は表示されません。</p>
倍率	<p>用紙サイズを変えずに、指定した倍率で印刷する</p> <p>（例）用紙サイズとして A4 を指定し倍率を 50%で PDF 作成すると、元ドキュメントの内容が 50%に縮小され、A4 用紙の左上に表示される。</p>

3.4 【レイアウト】すかし

設定画面の【レイアウト】メニューにある【すかし】の各項目について説明します。
【すかしの種類】を選択することで、設定項目が表示されます。



本ドライバーにおける「すかし」とは、元ドキュメントの内容を編集することなく、前面または背面に挿入するテキストやイメージ、PDF のことです。



3.4.1 テキスト

指定したテキストをすかしとして挿入できます。

項目	説明
透過率	0～100（単位：％） ※ 透過率が低ければ低いほど、追加したすかしは、より透明に近くなります。 ※ PDF バージョンが 1.3 の場合は 100%のみ設定可能です。
すかしの文字列	すかしとして挿入するテキスト内容（全角・半角合わせて 1～255 文字）
フォント	テキストのフォント
フォントスタイル	テキストのフォントスタイル（標準 / 太字 / 斜体 / 太字斜体）
フォントサイズ	テキストのフォントサイズ（1～100）
テキストカラー	テキストの色 ※ [PDF 出力設定] の [カラー] をフルカラーに設定していれば指定した色で出力されます。グレースケールに設定している場合はグレースケールとなります。

3.4.2 イメージ

指定したイメージをすかしとして挿入できます。

項目	説明
透過率	0～100（単位：％） ※ 透過率が低ければ低いほど、追加したすかしは、より透明に近くなります。 ※ PDF バージョンが 1.3 の場合は 100%のみ設定可能です。
イメージファイルパス	すかしとして挿入するイメージファイルのファイルパス ファイル形式：BMP (*.bmp)、JPEG (*.jpg, *.jpeg, *.jpe)、PNG (*.png)

3.4.3 PDF

指定した PDF をすかしとして挿入できます。
(対応する PDF バージョン：1.5 以降)

- ※ 出力設定でカラーを [グレースケール] に設定しても、すかしとして挿入する PDF は、元ドキュメントの色で出力されます。

すかしの種類(M)

PDF

すかし設定(K)

透過率(Y)

50 %

PDFファイル(D)

PDFパスワード(P)

倍率(S)

100 %

すかしに使用するページ番号(N)

1

項目	説明
透過率	0～100（単位：%） ※ 透過率が低ければ低いほど、追加したすかしは、より透明に近くなります。
PDF ファイル	すかしとして挿入する PDF のファイルパス ※ ファイルパスを入力するか、[...] を押してファイルを選択してください。
PDF パスワード	すかしとして挿入する PDF が暗号化されているとき、使用するパスワード ※ 開くパスワードと、編集権限を変更するパスワードの両方が設定されている場合、編集権限を変更するパスワードを設定する必要があります。 ※ PDF にパスワードが設定されていない場合は無視されます。
倍率	指定した倍率で挿入する (例) 50%を指定すると、指定した PDF の内容が 50%に縮小され、出力する PDF の中央にすかしとして挿入される。
すかしに使用するページ番号	すかしとして挿入する PDF のうち、使用するページのページ番号 ※ 指定したページが存在しない場合、1 ページ目をすかしとして使用します。

3.4.4 配置設定

すかしの配置位置について設定します。
[すかしの種類] によって設定の可否が異なります。

配置設定(G)

順序(E)

最背面

基準点(B)

左上

基準点からの移動量

X方向(Q)

0.0

Y方向(V)

0.0

mm

すかしの幅(W)

1.1

すかしの高さ(H)

1.1

mm

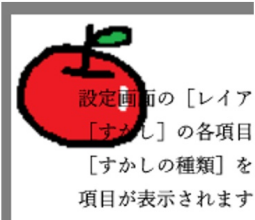

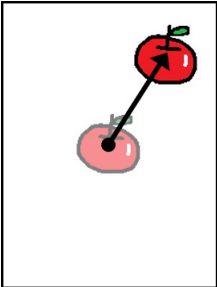
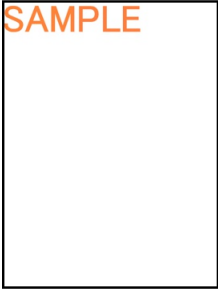

☐ 縦横比固定(X)

☐ 用紙サイズに合わせる(A)

回転角(R)

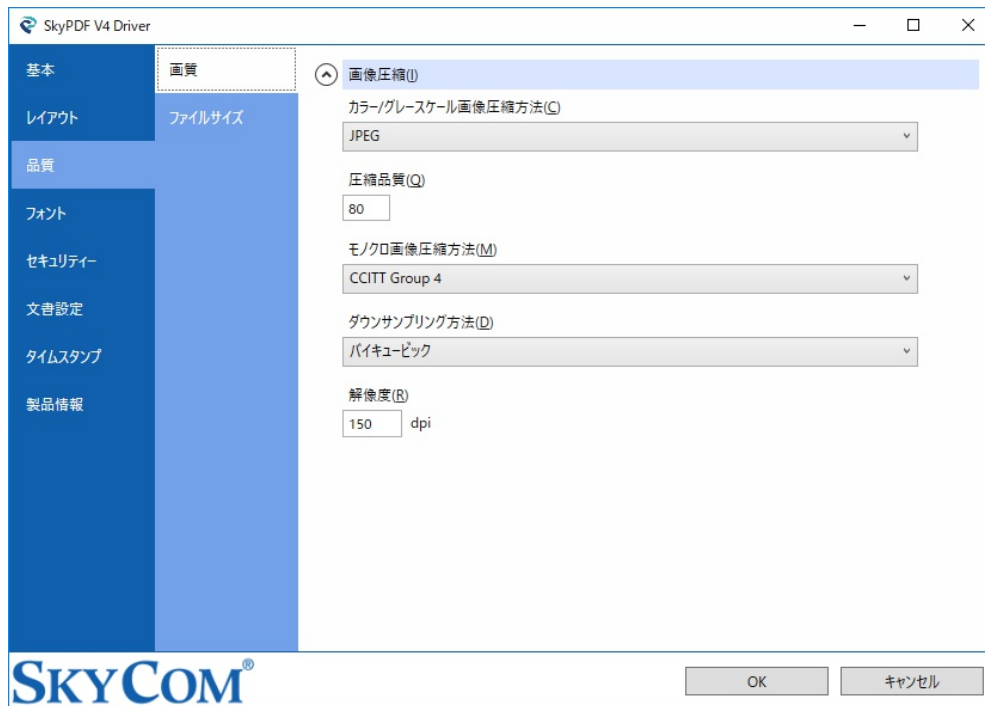
0 °

○：設定可 ×：設定不可

項目	説明	テキスト	イメージ	PDF
順序	<p>配置の順序</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>最背面</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>最前面</p>  </div> </div>	○	○	○
基準点	<p>基準となる配置位置</p> <p>左上 / 上 / 右上 / 左 / 中央 / 右 / 左下 / 下 / 右下</p>	○	○	× (中央)
基準点からの移動量	<p>「基準点」で指定した位置からの移動量</p> 	○	○	×
すかしの幅	すかしの横のサイズ（単位：mm）	×	○	×
すかしの高さ	すかしの縦のサイズ（単位：mm）	×	○	×
縦横比固定	<p>「すかしの幅」と「すかしの高さ」の現在の値の比を固定する</p> <p>縦横比を固定すると、どちらかの値を変更したときもう片方も自動で変更される</p>	×	○	×
用紙サイズに合わせる	イメージを用紙におさまる最大のサイズまで拡大・縮小する	×	○	×
回転角	<p>すかしの角度を-180～180（単位：度）の間で指定する</p> <p>プラスが反時計回り、マイナスが時計回りとなる</p> <p>（例） 基準点：左上 回転角：0 回転角：45</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	○	○	×

3.5 【品質】画質

設定画面の「品質」メニューにある「画質」の各項目について説明します。



「画質」では、PDF に埋め込む画像の圧縮についての設定を行います。

カラー/グレースケール画像圧縮方法

PDF に埋め込むカラー/グレースケール画像の圧縮方法について設定します。

項目	説明
なし	圧縮しない ※ ファイルサイズが大きくなっても表示品質の高い PDF を出力する必要がある場合の推奨設定です。
ファイルサイズが最小となる方法を自動判定	Zip、JPEG、JPEG2000 の中から最も圧縮効率の良い方法を自動判定する 自動判定を行うため、使用メモリが増加し処理が遅くなる
Zip	広範囲が単色である画像や、単色の組み合わせ、パターン模様を含む画像に適した圧縮方法 圧縮しても画質は劣化しない
JPEG	写真などの連続階調の画像、高解像度でファイルサイズの大きな画像などに適した圧縮方法 圧縮には画質の劣化を伴う
JPEG2000	(対応する PDF バージョン : 1.5 以降) JPEG を発展させたもので、JPEG に比べノイズの発生が少ない 処理速度は遅くなるが、高圧縮が可能 圧縮には画質の劣化を伴う
圧縮品質	圧縮方法として JPEG または JPEG2000 指定時の設定 1～100 (単位 : %) の数値で指定する 値が大きいくほどファイルサイズは大きくなるが、画質の劣化は少なくなる

モノクロ画像圧縮方法

PDF に埋め込むモノクロ画像の圧縮方法について設定します。

項目	説明
なし	圧縮しない ※ ファイルサイズが大きくなっても表示品質の高い PDF を出力する必要がある場合の推奨設定です。
ファイルサイズが最小となる方法を自動判定	Zip、CCITT Group 3、CCITT Group 4、JBIG2 の中から最も圧縮効率の良い方法を自動判定する 自動判定を行うため、使用メモリが増加し処理が遅くなる
Zip	広範囲が単色である画像や、単色の組み合わせ、パターン模様を含む画像に適した圧縮方法 圧縮しても画質は劣化しない
CCITT Group 3	モノクロ画像形式に適した汎用的な圧縮方法 圧縮しても画質は劣化しない
CCITT Group 4	CCITT Group 3 より圧縮率が高い、モノクロ圧縮方法 圧縮しても画質は劣化しない
JBIG2	処理が遅くなるが、他の方法より高圧縮が可能な圧縮方法 画質の劣化を伴う ※ PDF/X と同時に設定することはできません。

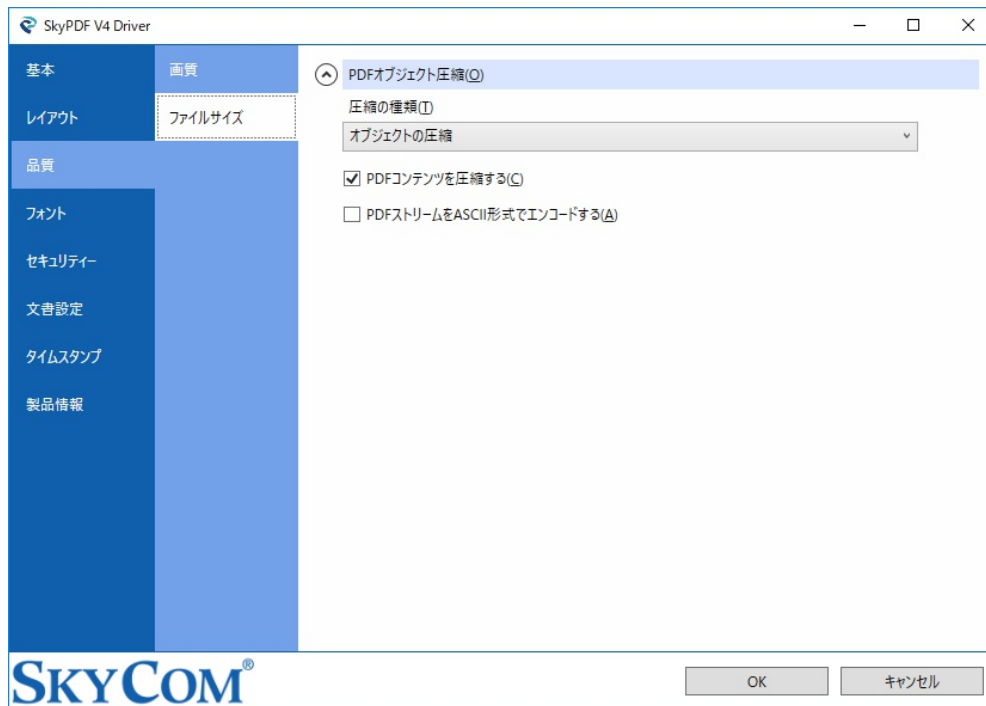
ダウンサンプリング方法

ダウンサンプリング方法を設定すると、PDF に画像を埋め込む際、指定した「解像度」の値以下にダウンサンプリング（画像内のピクセル数の削減）を行います。

項目	説明
なし	ダウンサンプリングを行わない ※ 高解像度の PDF を出力する必要がある場合の推奨設定です。
バイリニア	印刷品質より印刷速度を優先した補間方法 データ量が小さくなり処理速度が速くなる 単純な画像・図形に向いている ※ PDF/X と同時に設定することはできません。
バイキュービック	印刷速度・品質でバランスの取れた補間方法 バイリニアに比べてデータ量が大きくなり処理速度が遅くなるが、より滑らかなグラデーションの画像が得られる 複雑な画像・写真に向いている ※ PDF/X と同時に設定することはできません。
ランチョス	印刷品質を優先した補間方法 バイキュービックに比べて処理速度が遅くなるが、より滑らかに補間する ※ PDF/X と同時に設定することはできません。
解像度	72～2400（単位：dpi）で指定する 1 インチあたりのピクセル数 PDF に埋め込む画像が、ここで指定した解像度よりも高くなる場合、指定した方法でダウンサンプリングを行う

3.6 【品質】 ファイルサイズ

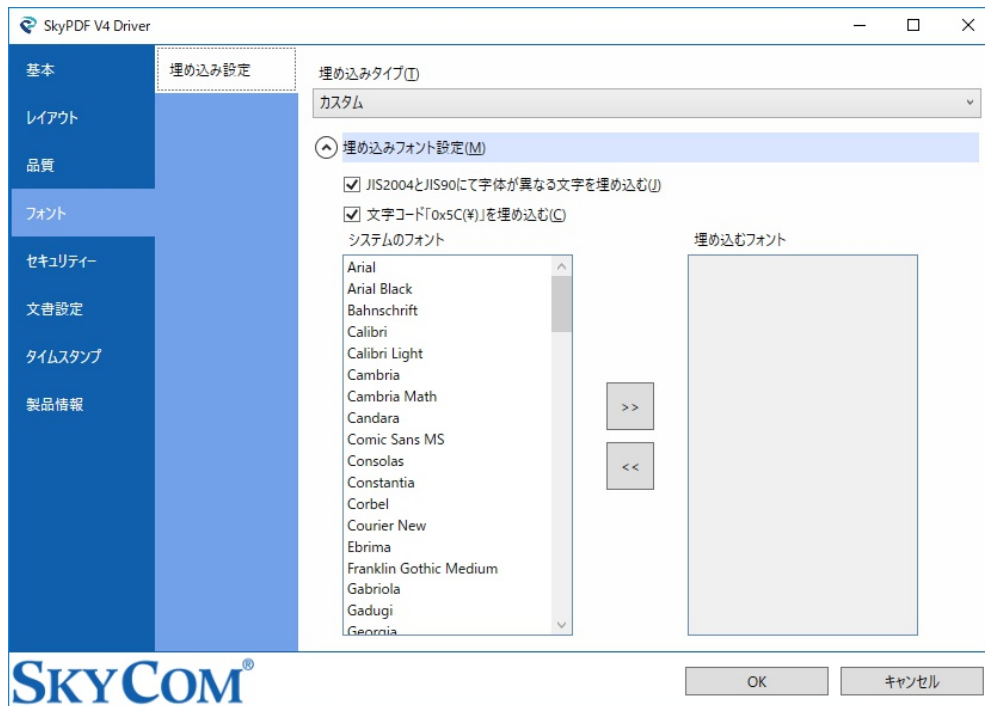
設定画面の「品質」メニューにある「ファイルサイズ」の各項目について説明します。



項目	説明
圧縮の種類	圧縮の種類を指定すると、画像以外の PDF オブジェクトの圧縮を行う 圧縮するとファイルサイズが小さくなる ただし、PDF のバージョンをより新しくする必要がある
なし	圧縮しない
構造情報の圧縮	(対応する PDF バージョン : 1.5 以降) 相互参照テーブルを相互参照ストリームにすることで圧縮する
オブジェクトの圧縮	(対応する PDF バージョン : 1.5 以降) 相互参照テーブルを相互参照ストリームにし、加えて一部の PDF オブジェクトをオブジェクトストリームにする
PDF コンテンツを圧縮する	PDF のコンテンツの圧縮を行う 圧縮するとファイルサイズがより小さくなり、ページ内容を記述した描画命令がブラックボックス化される
PDF ストリームを ASCII 形式でエンコードする	通常はバイナリデータとなるストリームオブジェクトを、ASCII85 でエンコードする バイナリデータに比べ、ファイルサイズが大きくなる

3.7 【フォント】埋め込み設定

設定画面の「フォント」メニューにある「埋め込み設定」の各項目について説明します。



フォントの埋め込みとは、PDF で使用するフォントの情報を PDF 内に埋め込むことです。

フォントを埋め込むと、ファイルサイズは大きくなりますが、そのフォントがインストールされていない別の環境でもレイアウトを損なうことなく PDF を表示・印刷することができます。

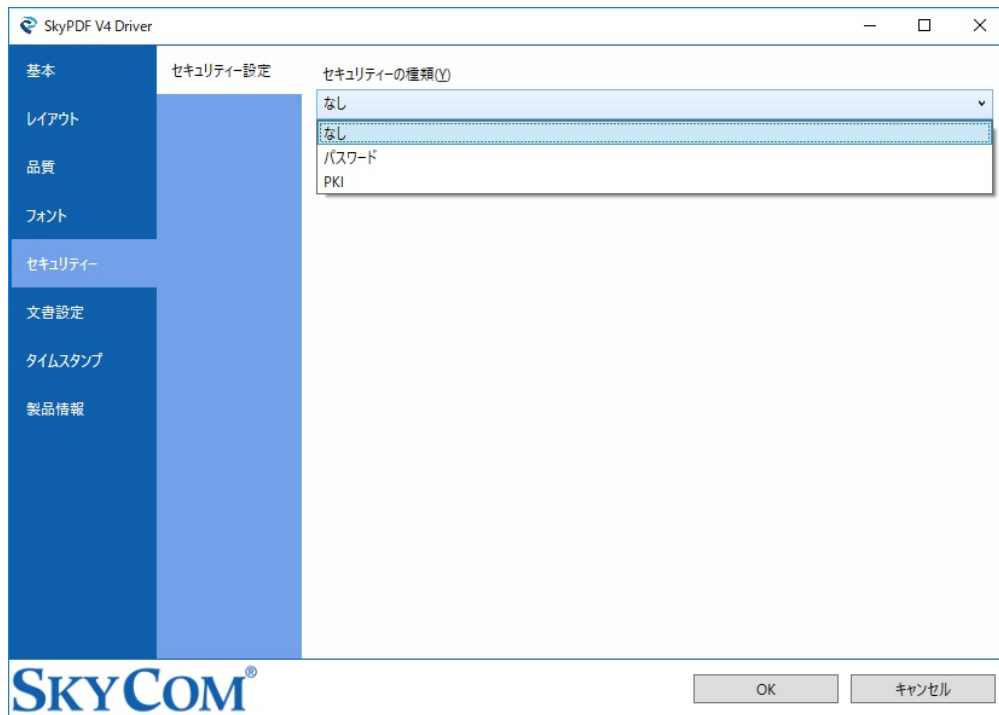
フォントを埋め込まない場合、ファイルサイズは小さくできますが、PDF を閲覧する環境やアプリケーションによって異なる表示になる可能性があります。

項目	説明
埋め込みタイプ	PDF へのフォントの埋め込みを設定する
すべて埋め込む	使用するフォントをすべて埋め込む ※ 異なる環境で閲覧する場合や長期保存を目的とした場合の推奨設定です。 ※ 規格が PDF/A または PDF/X の場合、必ず「すべて埋め込む」を設定してください。
地域による埋め込み最適化	ヨーロッパ (Europe) または日本 (Japan) のどちらの OS で PDF を使用するかに よって、埋め込むフォントを自動で選定する [すべて埋め込む] 指定時より埋め込むフォントの数は少なくなる
カスタム	埋め込むフォントを自己判断で設定する
すべて埋め込まない	フォントを埋め込まない
JIS2004 と JIS90 にて字体が異なる文字を埋め込む	JIS2004 と JIS90 で字体が異なる文字のフォントを埋め込み、意図した表示を損な うことなく出力する
文字コード「0x5C(¥)」を埋め込む	OS やアプリケーションの違いに左右されず、半角の「¥ (円マーク)」と「\ (バ ックスラッシュ)」を元ドキュメントどおりに表示できるようフォントを埋め込む
システムのフォント	埋め込み可能なフォントの一覧
埋め込むフォント	システムのフォントの中から選択された、PDF で使用する場合は埋め込むフォ ント

3.8 【セキュリティ】セキュリティ設定

設定画面の[セキュリティ]メニューにある[セキュリティ設定]の各項目について説明します。

- ※ セキュリティ設定は、PDF/A および PDF/X と同時に設定することはできません。
- ※ セキュリティ設定は、印影が丸型・角型のタイムスタンプと同時に設定することはできません。不可視印影のタイムスタンプは設定できます。



PDF におけるセキュリティ設定では、パスワードの入力や証明書の有無によって、閲覧や印刷、編集などの権限を制限することができます。

パスワードを使ってセキュリティ設定を行う場合は[パスワード]を、
電子証明書を使ってセキュリティ設定を行う場合は[PKI]を選択してください。

3.8.1 パスワード設定

「セキュリティの種類」で「パスワード」を選択すると、パスワードを設定してPDFを暗号化し、閲覧者の権限を制限できます。

項目	説明
PDF を開くパスワード	PDF を開く際に必要となるパスワード (0～32 文字) ※ 「ユーザーパスワード」とも言う ※ 「PDF の編集権限を変更するパスワード」と同じパスワードは設定できない
PDF の編集権限を変更するパスワード	「セキュリティの種類」で「パスワード」を選択した場合必須 PDF の印刷権限・編集権限を変更する際や、セキュリティを設定した PDF を編集する際に必要となるパスワード (1～32 文字) このパスワードを入力する以外の方法で PDF を開いた場合の権限を制限できる ※ 「マスターパスワード」「オーナーパスワード」とも言う

「PDF を開くパスワード」を無効にした場合、PDF を開く際にはパスワードは必要ありません。

「PDF を開くパスワード」に有効にし、かつ、パスワード入力欄が未入力の場合、印刷実行時（PDF 作成時）に「PDF を開くためのパスワード」を設定することができます。ただし、メッセージダイアログ非表示でインストールした場合は、印刷実行時に設定することはできません。

3.8.2 PKI 設定

「セキュリティの種類」で「PKI」を選択すると、電子証明書を使って PDF を暗号化し、閲覧者の権限を制限できます。（対応する PDF バージョン：1.5～2.0）

証明書ストアのうち「個人」ストアまたは「ほかの人」ストアにインストールされている証明書のみ、セキュリティに使用できます。それ以外のストアにインストールされている証明書は使用できません。

「個人」ストアにインストールされている証明書は、「オーナー」欄に「O」と表示されます。

項目	説明
印刷実行時に設定する	<p>印刷実行時（PDF 作成時）に、証明書を設定する画面を表示する</p> <p>※ 権限設定は事前に設定しておく必要があります。</p> <p>※ メッセージダイアログ非表示でインストールした場合は設定できません。</p>
セキュリティに使用する証明書	<p>使用する証明書を「システムにインストールされている証明書」の中から選択する</p> <p>※ 初期状態では「個人」ストアにインストールされている証明書の一覧が表示されます。</p>
システムにインストールされている証明書	<p>システムにインストールされている証明書のうち、PKI に使用できるものの一覧</p> <p>※ 初期状態では「ほかの人」ストアにインストールされている証明書の一覧が表示されます。</p>

[追加] を押すと、
[システムにインストールされている証明書] の一覧で選択されている証明書が、
[セキュリティに使用する証明書] の一覧に移動します。

PKI設定(K)

☐ 印刷実行時に設定する(I)

セキュリティに使用する証明書(I)

状態	オーナー	名前	発行者	有効期間

追加(A) 削除(D) 詳細(S) 検証(V)

システムにインストールされている証明書(C)

名前	発行者	有効期間
SampleC	SKYCOM Certification Auth	2020/05/19 16:21:09
SampleB	Class2 Individual Certificate	2021/12/26 8:59:59
RootCA	RootCA	2024/04/04 14:52:09
SampleA	Class2 Individual Certificate	2021/04/28 8:59:59

[削除] を押すと、
[セキュリティに使用する証明書] の一覧で選択されている証明書が、
セキュリティに使用しないとして
[システムにインストールされている証明書] の一覧に移動します。

PKI設定(K)

☐ 印刷実行時に設定する(I)

セキュリティに使用する証明書(I)

状態	オーナー	名前	発行者	有効期間
✓	O	SampleA	Class2 Individual	2021/04/28 8:59:59

追加(A) 削除(D) 詳細(S) 検証(V)

システムにインストールされている証明書(C)

名前	発行者	有効期間
SampleC	SKYCOM Certification Auth	2020/05/19 16:21:09
SampleB	Class2 Individual Certificate	2021/12/26 8:59:59
RootCA	RootCA	2024/04/04 14:52:09

[詳細] を押すと、選択した証明書の詳細を表示します。

PKI設定(K)

☐ 印刷実行時に設定する(I)

セキュリティに使用する証明書(I)

状態	オーナー	名前	発行者	有効期間
✓	O	SampleA	Class2 Individual	2021/04/28 8:59:59

追加(A) 削除(D) 詳細(S) 検証(V)

システムにインストールされている証明書(C)

名前	発行者	有効期間
SampleC	SKYCOM Certification Auth	2020/05/19 16:21:09
SampleB	Class2 Individual Certificate	2021/12/26 8:59:59
RootCA	RootCA	2024/04/04 14:52:09

証明書

全般 詳細 証明のパス

証明書の情報

この証明書の目的:

- 電子メールを保護する
- リモート コンピューターに ID を証明する
- 2.23.840.1.113733.1.7.13.7

*詳細は、証明機関のステートメントを参照してください。

発行先: SampleA

発行者: Class2 Individual Certificate Service CA

有効期間 2019/03/29 から 2021/04/28

この証明書に対応する秘密キーを持っています。

発行者のステートメント(S)

OK

[検証] を押すと、[セキュリティに使用する証明書] が有効か、検証を行います。
有効の場合は [状態] が になり、無効の場合は になります。

3.8.3 権限設定

権限設定(M)

印刷権限(P)

すべての印刷を許可する

編集権限(E)

フォームフィールドの入力と、既存の署名フィールドに署名を許可する

☒ テキスト、画像、その他のコンテンツのコピーや抽出を許可する(G)

☒ スクリーンリーダーデバイスのテキストへのアクセスを許可する(X)

項目	説明
印刷権限	PDF の印刷に関する権限の設定
印刷を許可しない	印刷することのできない PDF とする
低解像度(150dpi)での印刷のみ許可する	解像度を 150dpi 以下に設定した場合にのみ印刷できる PDF とする
すべての印刷を許可する	印刷の権限設定を行わない
編集権限	編集に関する権限の設定
編集を許可しない	PDF の内容を編集するすべての操作を制限する
ページの抽出を除きすべて許可する	PDF の内容を編集するすべての操作を許可する
署名なし捺印、注釈、フォームフィールドの入力と、既存の署名フィールドに署名を許可する	署名なし捺印の追加 : 可 注釈の追加・編集 : 可 フォームフィールドへの入力 : 可 署名フィールドへの署名 : 可 ページの挿入、削除、回転 : 不可 その他の編集 : 不可
フォームフィールドの入力と、既存の署名フィールドに署名を許可する	署名なし捺印の追加 : 不可 注釈の追加・編集 : 不可 フォームフィールドへの入力 : 可 署名フィールドへの署名 : 可 ページの挿入、削除、回転 : 不可 その他の編集 : 不可
ページの挿入、削除、回転を許可する	署名なし捺印の追加 : 不可 注釈の追加・編集 : 不可 フォームフィールドへの入力 : 不可 署名フィールドへの署名 : 不可 ページの挿入、削除、回転 : 可 その他の編集 : 不可
テキスト、画像、その他のコンテンツのコピーや抽出を許可する	PDF 内容のコピー・抽出に関する権限の設定
スクリーンリーダーデバイスのテキストへのアクセスを許可する	テキスト読み上げ機能を持つアプリケーションで PDF を開いた際の動作に関する権限の設定 ※ PDF バージョンが 2.0 の場合は必ず設定します。

3.8.4 暗号化設定

項目	説明
暗号化レベル	暗号化レベルが高ければ高いほどセキュリティの面では効果的 ただし、PDF のバージョンをより新しくする必要がある
128bit RC4	(対応する PDF バージョン : 1.3~1.7) PDF バージョン 1.3 や 1.4 でも設定できる暗号化レベル PDF バージョン 1.6 以降でセキュリティを設定する場合は非推奨
128bit AES v2	(対応する PDF バージョン : 1.6、1.7) 128bit RC4 に比べて高い暗号化レベル
256bit AES	(対応する PDF バージョン : 1.7、2.0) 128bit AES v2 に比べて高い暗号化レベル
暗号化する要素	PDF 構成要素のうち暗号化する範囲 ※ ここでいう「メタデータ」とは、[文書情報] で設定できる [タイトル] [作成者] [サブタイトル] [キーワード] のことです。 (参照 : 3.9 【文書設定】文書情報)
全ての要素を暗号化する	メタデータを含め、すべての要素を暗号化する
メタデータ以外の要素を暗号化する	メタデータを暗号化しないことで、パスワード・証明書無しでもメタデータの読み込みが可能 PDF ビューアー以外からファイル検索を行う場合などに有用

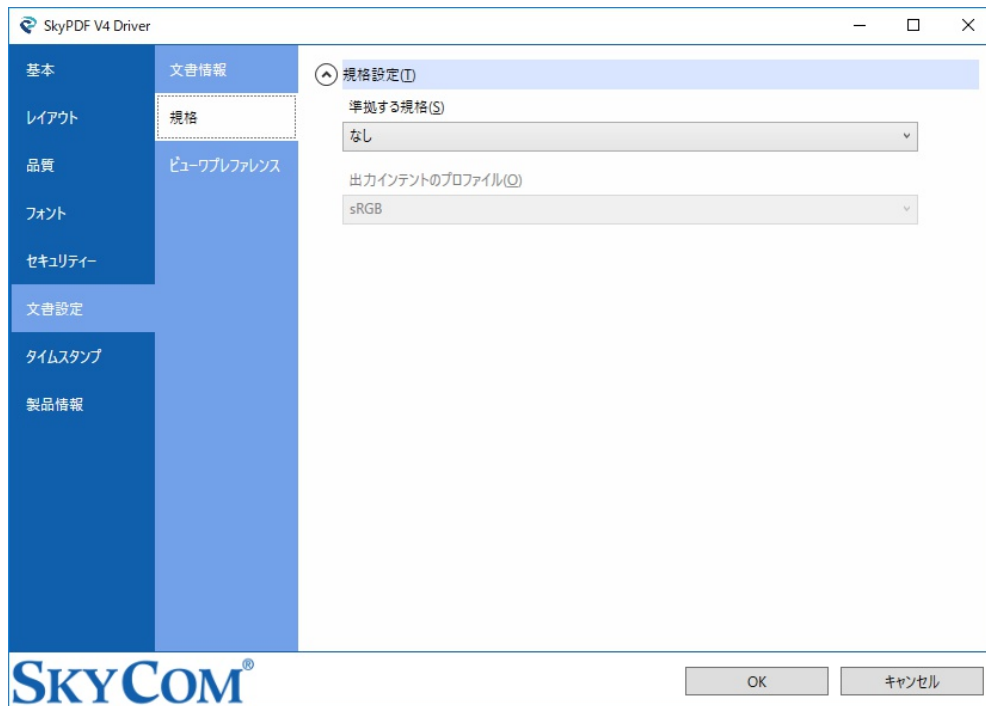
3.9 【文書設定】文書情報

設定画面の「文書設定」メニューにある「文書情報」の各項目について説明します。
ここでは、作成する PDF の文書情報を設定できます。

項目	説明
タイトル	タイトル (0～256 文字) ※ PDF/X で出力する場合、必ず設定してください。
作成者	作成者 (0～256 文字)
サブタイトル	サブタイトル (0～256 文字)
キーワード	キーワード (0～256 文字)
文書情報をメタデータとして出力する	通常は PDF 内部の一要素として出力する上記 4 つの文書情報を、メタデータとして出力できる メタデータとして出力すると、セキュリティ設定時に暗号化の対象外とすることができる ※ PDF バージョンが 2.0 の場合は必ず設定します。

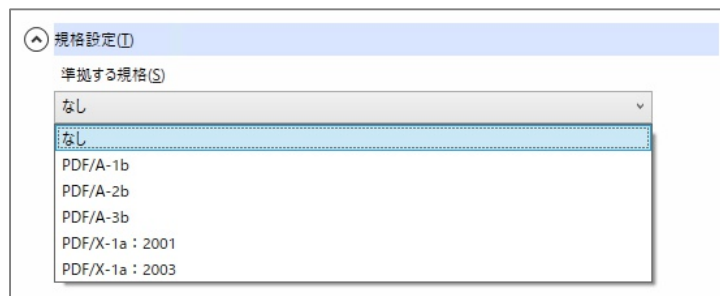
3.10 【文書設定】規格

設定画面の「文書設定」メニューにある「規格」の各項目について説明します。



準拠する規格

PDF には、標準の PDF 規格の他に複数の規格があります。



用途に合わせて適宜設定してください。

項目	説明
なし	設定した PDF バージョンの仕様に準拠した標準の PDF 規格
PDF/A-1b	ISO19005-1 に一部準拠した、PDF1.4 の仕様にに基づく長期保存用の電子文書規格
PDF/A-2b	ISO19005-2 に一部準拠した、ISO32000-1 (PDF1.7 の仕様) に基づく長期保存用の電子文書規格
PDF/A-3b	ISO19005-3 に一部準拠した、ISO32000-1 (PDF1.7 の仕様) に基づく長期保存用の電子文書規格
PDF/X-1a:2001	ISO15930-1 に準拠した、プリプレスデータ交換用の規格
PDF/X-1a:2003	ISO15930-4 に準拠した、プリプレスデータ交換用の規格

準拠する規格ごとに設定できる PDF バージョンや機能に差があります（下表参照）。

◎：設定必須 ○：設定可 ×：設定不可 1.3～1.7：PDF バージョン 記載の無い機能：影響無し

機能		準拠する規格				
カテゴリ	設定項目	A-1b	A-2b	A-3b	X-1a :2001	X-1a :2003
出力設定	PDF バージョン 1.3	○	○	○	◎	○
	PDF バージョン 1.4	○	○	○	×	○
	PDF バージョン 1.5	×	○	○	×	×
	PDF バージョン 1.6	×	○	○	×	×
	PDF バージョン 1.7	×	○	○	×	×
	PDF バージョン 2.0	×	×	×	×	×
	URL を自動的に PDF リンクへ変換する	○	○	○	×	×
すかし	すかしの種類 [PDF]	×	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	×	×
	透過率 0～99%	×	1.3 : × 1.4 : ○ 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	1.3 : × 1.4 : ○ 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	×	×
	透過率 100%	○	○	○	○	○
画質	カラー/グレースケール画像圧縮方法 [JPEG2000]	×	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	×	×
	モノクロ画像圧縮方法 [JBIG2]	○	○	○	×	×
	ダウンサンプリング方法 [なし]	○	○	○	◎	◎
ファイルサイズ	構造情報の圧縮	×	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	×	×
	オブジェクトの圧縮	×	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	1.3 : × 1.4 : × 1.5 : ○ 1.6 : ○ 1.7 : ○	×	×
埋め込み設定	すべて埋め込む	◎	◎	◎	◎	◎
セキュリティー設定	なし	◎	◎	◎	◎	◎
文書情報	タイトル	○	○	○	◎	◎
タイムスタンプ設定	タイムスタンプを付ける	×	×	×	×	×

出力インテントのプロファイル

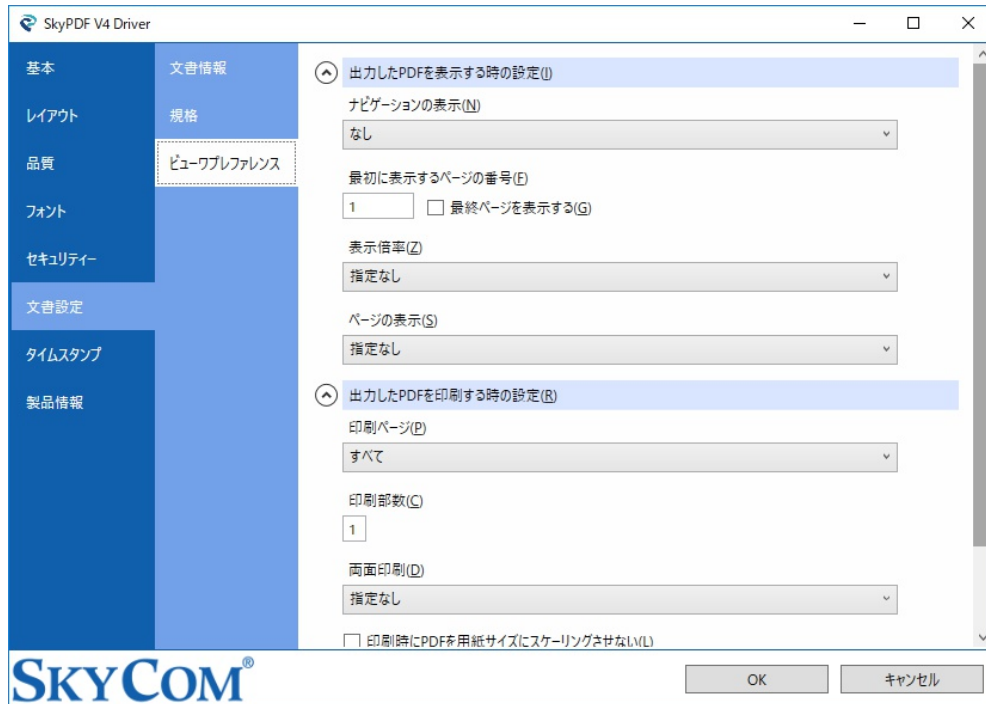
設定した規格ごとに、出力する PDF の色空間プロファイルを設定できます。

準拠する規格	設定できる出力インテントのプロファイル
PDF/A-1b PDF/A-2b PDF/A-3b	<ul style="list-style-type: none"> • sRGB • Adobe RGB(1998) • Apple RGB • ColorMatch RGB
PDF/X-1a:2001 PDF/X-1a:2003	<ul style="list-style-type: none"> • U.S.Web Coated(SWOP)v2 • U.S.Web Uncoated v2 • Coated GRACoL 2006(ISO 12647-2:2004) • Web Coated SWOP Grade 3 Paper • Web Coated SWOP Grade 5 Paper • Coated FOGRA27 (ISO 12647-2:2004) • Web Coated FOGRA28 (ISO 12647-2:2004) • Uncoated FOGRA29 (ISO 12647-2:2004) • Coated FOGRA39(ISO 12647-2:2004) • Japan Web Coated(Ad) • Japan Color 2001 Coated • Japan Color 2001 Uncoated • Japan Color 2002 Newspaper • Japan Color 2003+P158 Web Coated

3.11 【文書設定】ビューワプレファレンス

設定画面の「文書設定」メニューにある「ビューワプレファレンス」の各項目について説明します。
ここでは、PDF をビューアーで表示する時や印刷する時の初期設定を変更することができます。

- ※ 「ビューワプレファレンス」の設定は、表示および印刷の初期設定を PDF に埋め込むものです。PDF に埋め込まれた情報をどこまで読み込み可能か、読み込んだ内容を表示設定・印刷設定に対しどのように反映するかは、使用する PDF ビューアーによって異なる可能性があります。



出力した PDF を表示する時の設定

項目	説明
ナビゲーションの表示	出力した PDF を開いたときのビューアーのナビゲーション表示やフルスクリーンの設定
なし	ビューアーに従う
しおりパネル	ナビゲーションのしおりパネルを表示する
サムネイルパネル	ナビゲーションのサムネイル表示を行うパネルを表示する
フルスクリーン	PDF を全画面表示にする
オプションコンテンツパネル	ナビゲーションのオプションコンテンツのパネルを表示する
添付ファイルパネル	ナビゲーションの添付ファイルパネルを表示する
最初に表示するページの番号	出力した PDF を開いたとき最初に表示するページのページ番号 (1～) 出力した PDF の総ページ数より大きい値が設定されていた場合は、1 ページ目が表示される
表示倍率	出力した PDF を開いたときの表示倍率
指定なし	ビューアーに従う
幅に合わせる	ビューアーの幅に合わせた倍率で表示する
全体を表示させる	ビューアーの表示エリアに 1 ページ全体を表示できる倍率で表示する
25～1000%	指定した倍率で表示する

ページの表示	出力した PDF を開いたときのページのページレイアウト	
指定なし	ビューアーに従う	
ページ単位表示	1 ページずつ表示する	
ページ単位見開き表示	2 ページずつ表示する	
ページ単位見開き表示(表紙)	1 ページ目を表紙とし、2 ページ目以降は 2 ページずつ表示する	
連続ページ表示	1 ページずつ連続して表示する	
連続ページ見開き表示	2 ページずつ連続して表示する	
連続ページ見開き表示(表紙)	1 ページ目を表紙とし、2 ページ目以降は 2 ページずつ連続して表示する	

出力した PDF を印刷する時の設定

⑤ 出力したPDFを印刷する時の設定(R)

印刷ページ(P)

すべて

印刷部数(C)

1

両面印刷(D)

指定なし

☐ 印刷時にPDFを用紙サイズにスケーリングさせない(L)

☐ 印刷時にスケーリングの設定を変更させない(E)

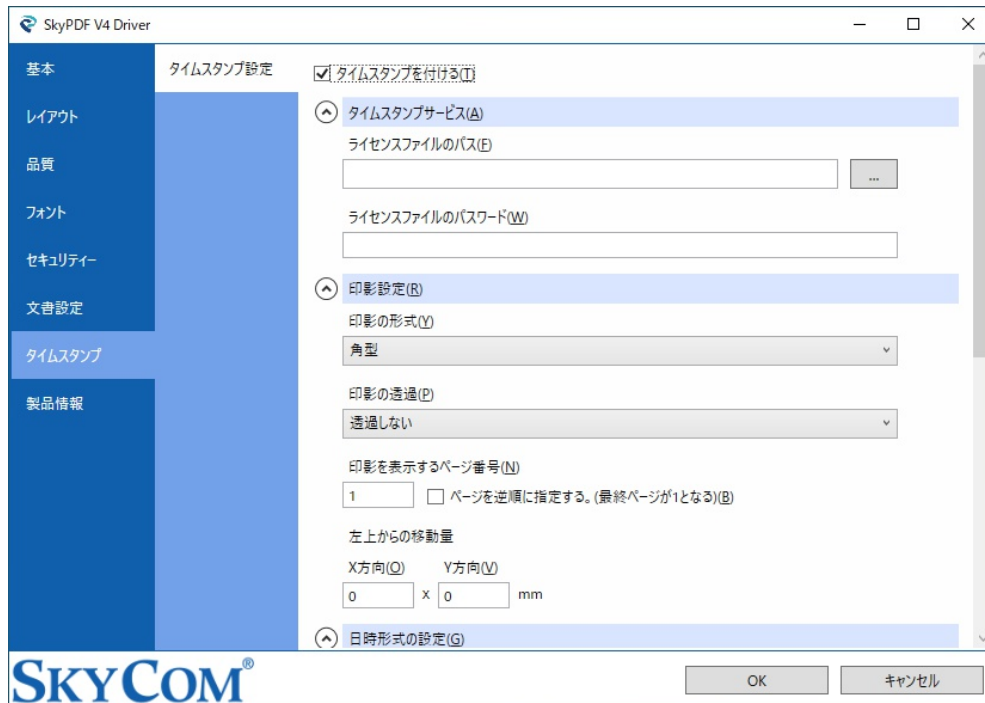
☒ 印刷時に用紙サイズを自動で選択させない(A)

項目	説明
印刷ページ	出力した PDF を印刷する際の印刷範囲の初期設定 [ページ指定] を選択すると、入力欄が表示される
印刷部数	出力した PDF を印刷する際の印刷部数の初期設定
両面印刷	出力した PDF を印刷する際の両面印刷の初期設定 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定なし ・ 片面印刷 ・ 両面印刷（短辺綴じ） ・ 両面印刷（長辺綴じ）
印刷時に PDF を用紙サイズにスケールリングさせない	出力した PDF を印刷する際、用紙サイズに合わせて PDF サイズを調整するかについての初期設定 チェックが ON の場合、PDF サイズを調整しない チェックが OFF の場合、PDF サイズを調整する
印刷時にスケールリングの設定を変更させない	（対応する PDF バージョン：2.0） 出力した PDF を印刷する際、[印刷時に PDF を用紙サイズにスケールリングさせない] で設定した内容を変更不可にする チェックが ON の場合、変更不可にする チェックが OFF の場合、変更可にする
印刷時に用紙サイズを自動で選択させない	出力した PDF を印刷する際、用紙サイズを PDF サイズから自動で選択するかについての初期設定 チェックが ON の場合、用紙サイズを自動選択しない チェックが OFF の場合、用紙サイズを自動選択する

3.12 【タイムスタンプ】タイムスタンプ設定

設定画面の「タイムスタンプ」メニューにある「タイムスタンプ設定」の各項目について説明します。

「タイムスタンプを付ける」にチェックを付けることで、作成する PDF にタイムスタンプを付与することができます。



タイムスタンプは、次のような2つの効果によって電子データの証拠性を確保します。

存在証明 : タイムスタンプが付与された日時に、確かにデータが存在していたことの証明

完全性証明 : タイムスタンプが付与された日時以降、そのデータが改ざんされていないことの証明

3.12.1 タイムスタンプ機能の注意事項

- ・ タイムスタンプ機能は、「[出力設定]」の「[Web 表示用に最適化する]」設定と同時に設定することはできません。
- ・ タイムスタンプ機能は、PDF/A および PDF/X と同時に設定することはできません。
- ・ 印影が丸型・角型のタイムスタンプは、セキュリティ設定と同時に設定することはできません。
- ・ 本ドライバで PDF にタイムスタンプを付与するには、アマノセキュアジャパン株式会社の「アマノタイムスタンプサービス 3161」が必要です。タイムスタンプサービスの利用申し込みやライセンスファイル・証明書ファイルについての詳細は、アマノセキュアジャパン株式会社にお問い合わせください。
- ・ SHA256 非対応の古いライセンスファイルは使用できません。ライセンスの更新については、アマノセキュアジャパン株式会社にお問い合わせください。
- ・ 「[出力設定]」の「[カラー]」設定を「[グレースケール]」に設定していても、タイムスタンプの印影はカラーになります。
- ・ すかしを最前面に追加するよう設定していても、タイムスタンプの印影はすかしより前面に追加されます。

3.12.2 タイムスタンプサービス

タイムスタンプサービス(A)

ライセンスファイルのパス(E)

ライセンスファイルのパスワード(W)

項目	説明
ライセンスファイルのパス	アマノセキュアジャパン株式会社から配布される、「アマノタイムスタンプサービス 3161」のライセンスファイル (*.atl) のパス
ライセンスファイルのパスワード	ライセンスファイルのパスワード (0～20 文字)

3.12.3 印影設定

印影設定(R)

印影の形式(Y)

角型

印影の透過(P)

透過しない

印影を表示するページ番号(N)

1 ☐ ページを逆順に指定する。(最終ページが1となる)(B)

左上からの移動量

X方向(Q) Y方向(W)

0 x 0 mm

項目	説明
印影の形式	PDF に付与されるタイムスタンプの印影を選択する <div> <div>[不可視印影]</div> <div>[丸型]</div> <div>[角型]</div> </div>
印影の透過	印影の背景を透明にして、文書上に印影を配置しても文書が読み取れるように設定できる <div> <div>[透過しない]</div> <div>[透過させる]</div> <div>[半透過させる]</div> </div>
印影を表示するページ番号	PDF の何ページ目に印影を追加するか指定する <div>[ページを逆順に指定する。(最終ページが1となる)] にチェックを付けると、最終ページからのページ数を指定できる</div>
左上からの移動量	ページの左上を基点として、印影の追加位置を設定する

3.12.4 日時形式の設定

日時形式の設定(G)

タイムゾーン(Z)

JST (Japan Standard Time / UTC+9H)

日付形式(E)

yyyy/mm/dd (2020/01/20)

時刻形式(I)

HH:MM (17:09)

項目	説明
タイムゾーン	<p>印影に表示するタイムスタンプ追加日時・時刻のタイムゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> • UTC との時間差を明示的に設定する • PST (Pacific Standard Time / UTC-8H) • PDT (Pacific Daylight Time / UTC-7H) • MST (Mountain Standard Time / UTC-7H) • MDT (Mountain Daylight Time / UTC-6H) • CST (Central Standard Time / UTC-6H) • CDT (Central Daylight Time / UTC-5H) • EST (Eastern Standard Time / UTC-5H) • EDT (Eastern Daylight Time / UTC-4H) • UTC (Coordinated Universal Time / UTC±0H) • GMT (Greenwich Mean Time / UTC±0H) • WET (Western European Time / UTC±0H) • BST (British Summer Time / UTC+1H) • IST (Irish Summer Time / UTC+1H) • WEST (Western European Summer Time / UTC+1H) • CET (Central European Time / UTC+1H) • MEZ (Mittleuropaeische Zeit / UTC+1H) • CEST (Central European Summer Time / UTC+2H) • MESZ (Mittleuropaeische Sommerzeit / UTC+2H) • EET (Eastern European Time / UTC+2H) • EEST (Eastern European Summer Time / UTC+3H) • JST (Japan Standard Time / UTC+9H) • KST (Korea Standard Time / UTC+9H)
日付形式	<p>印影に表示するタイムスタンプ追加日時の日付形式</p> <p>※ ()内の日付は例です。実際にはタイムスタンプを追加した瞬間の日付となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • yyyy/mm/dd (2020/07/24) • yyyy/mth/dd (2020/Jul/24) • mth/dd/yyyy (Jul/24/2020) • dd/mth/yyyy (24/Jul/2020) • yyyy.mm.dd (2020.07.24) • yyyy.mth.dd (2020.Jul.24) • mth.dd/yyyy (Jul.24.2020) • dd.mth/yyyy (24.Jul.2020) • yyyy-mm-dd (2020-07-24) • yyyy-mth-dd (2020-Jul-24) • mth-dd-yyyy (Jul-24-2020) • dd-mth-yyyy (24-Jul-2020) • yyyy mth dd (2020 Jul 24) • mth dd,yyyy (Jul 24,2020) • dd mth yyyy (24 Jul 2020)

時刻形式	<p>印影に表示するタイムスタンプ追加日時の時刻形式</p> <p>※ ()内の時刻は例です。実際にはタイムスタンプを追加した瞬間の時刻となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • HH:MM (17:29) • II:MM PP (05:29 PM) • HH:MM:SS (17:29:59) • II:MM:SS PP (05:29:59 PM)
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3.12.5 詳細設定

詳細設定(L)

タイムスタンプ生成時の検証処理(C)

検証しない

接続するタイムスタンプサーバー(S)

http://tss3161.e-timing.ne.jp/astdtssvr/TSRequest

接続タイムアウト時間(M)

0 sec

☒ システムのプロキシ設定を使用する(X)

☐ PDF生成時、タイムスタンプ生成のエラーを無視する(H)

項目	説明
タイムスタンプ生成時の検証処理	<p>PDF にタイムスタンプを付与する際、検証を行うかの設定</p> <p>検証を行う場合、証明書のインストールが必要となる</p> <p>検証を行い、検証結果の不正や検証処理のエラーを検知した場合、タイムスタンプを付与しない</p> <p>【検証内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① タイムスタンプに含まれる TSA 証明書 ② TSA 証明書のルート CA 証明書 ③ CRL ④ CRL のルート CA 証明書
検証しない	検証を行わずにタイムスタンプを付与する
全ての検証を行う	①、②、③、④の検証を行い、すべての検証結果が正常な場合のみタイムスタンプを付与する
TSA 証明書のみ使用して検証する	①の検証を行い、検証結果が正常な場合のみタイムスタンプを付与する
TSA 証明書の失効確認以外を検証する	①、②の検証を行い、検証結果が正常な場合のみタイムスタンプを付与する
接続するタイムスタンプサーバー	<p>タイムスタンプサーバーの URL</p> <p>通常はデフォルト (http://tss3161.e-timing.ne.jp/astdtssvr/TSRequest) のまま使用可</p>
接続タイムアウト時間	タイムスタンプサーバーに接続する際のタイムアウト時間 (単位: 秒)
システムのプロキシ設定を使用する	タイムスタンプサーバーに接続する際、システムのプロキシ設定を使用して通信を行うかの設定
PDF 生成時、タイムスタンプ生成のエラーを無視する	タイムスタンプ付与の処理中にエラーが発生しても、PDF 変換処理を続行し、タイムスタンプ無しの PDF を作成するかの設定

アマノタイムスタンプの検証を行うには証明書のインストールが必要です。

以下の手順に従ってインストールしてください。

なお、[タイムスタンプ生成時の検証処理] の設定を [検証しない] に設定する場合は不要です。

※ 詳細：アマノセキュアジャパン株式会社「ルート CA 証明書および中間 CA 証明書の追加設定のお願い」
(<https://www.e-timing.ne.jp/news/detail/70>)

1. アマノセキュアジャパン株式会社の「アマノタイムスタンプサービス 3161 のリポジトリ及びその他公開情報」のページ (<https://www.e-timing.ne.jp/repository/timestamp3161/>) から、セコムトラストシステムズ株式会社のダウンロードページにアクセスし、以下に示すルート CA 証明書と中間 CA 証明書をダウンロードします。

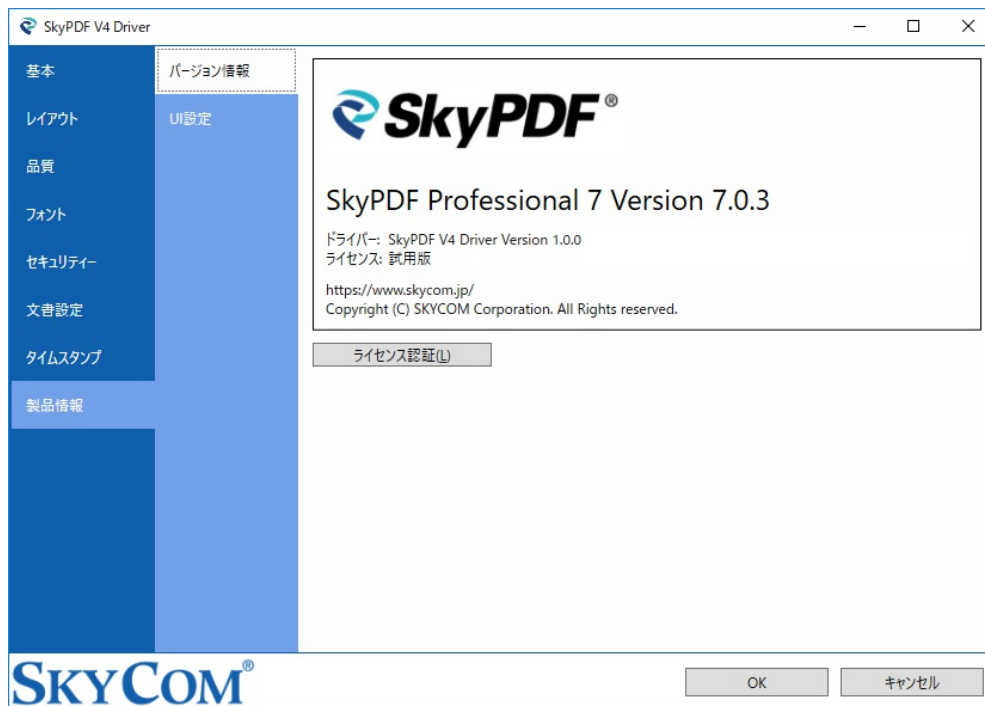
ルート CA 証明書 [https://repository.secomtrust.net/SC-Root3/Security Communication RootCA3 Certificate \(SCRoot3ca.cer\)](https://repository.secomtrust.net/SC-Root3/Security%20Communication%20RootCA3%20Certificate%20(SCRoot3ca.cer))

中間 CA 証明書 [https://repo1.secomtrust.net/spcpp/ts/SECOM TimeStamping CA3 \(ca3-der.cer または ca3.cer、どちらでも可\)](https://repo1.secomtrust.net/spcpp/ts/SECOM%20TimeStamping%20CA3%20(ca3-der.cer%20または%20ca3.cer))

2. ダウンロードした証明書ファイルをそれぞれ実行します。
セキュリティの警告が表示された場合は [開く] を押して進みます。
3. [証明書のインストール] を押します。
4. 目的に応じて保存場所を選択し、[次へ] を押します。
5. [証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[参照] を押します。
6. ルート CA 証明書 (SCRoot3ca.cer) の場合は [信頼されたルート証明機関] を、
中間 CA 証明書 (ca3-der.cer または ca3.cer) の場合は [中間証明機関] のストアを選択し、
[OK] を押します。
7. [次へ] を押します。
8. [完了] を押すと、証明書がインポートされます。
ダウンロードしたルート CA 証明書と中間 CA 証明書を**両方とも**インポートできたら完了です。

3.13 【製品情報】バージョン情報

設定画面の「製品情報」メニューにある「バージョン情報」では、本ドライバーを含む製品と本ドライバーのバージョン情報を確認できます。



「ライセンス認証」が表示されている場合、試用版としてインストールされています。

「ライセンス認証」を押すと表示される下図の画面で、必要事項（お名前、会社名、シリアル No.）を入力し「登録」を押すと、製品版へ移行できます。

ユーザ登録

SkyPDFをご利用いただきありがとうございます。
本品は試用版です。インストール後30日間ご利用いただけます。
製品版のご購入には、株式会社スカイコム(<https://www.skycom.jp/>)へ
ご連絡ください。

～あと30日間ご利用いただけます～

お名前、会社名、シリアルNo.を入力してください。

お名前(A):

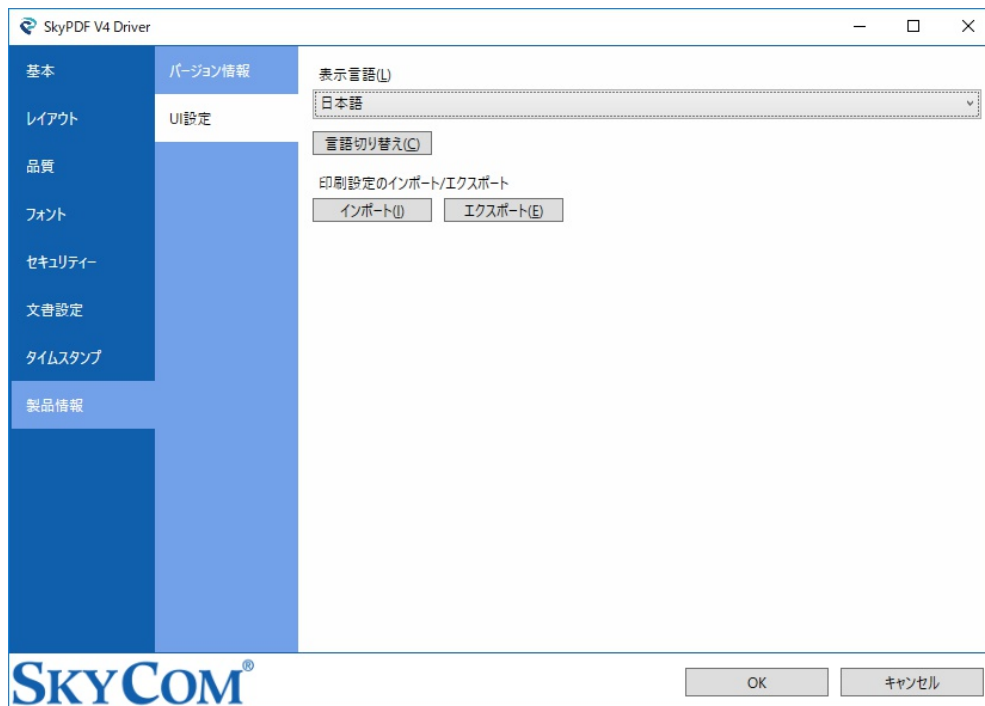
会社名(C):

シリアルNo.(S): - -

登録 キャンセル

3.14 【製品情報】UI 設定

設定画面の【製品情報】メニューにある【UI 設定】では、本ドライバーの表示言語を変更することができます。



【日本語】【英語】のいずれかを選択し【言語切り替え】を押すことで、変更できます。
日本語・英語以外の言語で表示することはできません。

また、【エクスポート】を押すと、本ドライバーの現在の設定を PrintTicket File (*.xml) としてエクスポートできます。【インポート】すると、PrintTicket File (*.xml) の内容を本ドライバーの設定に反映できます。

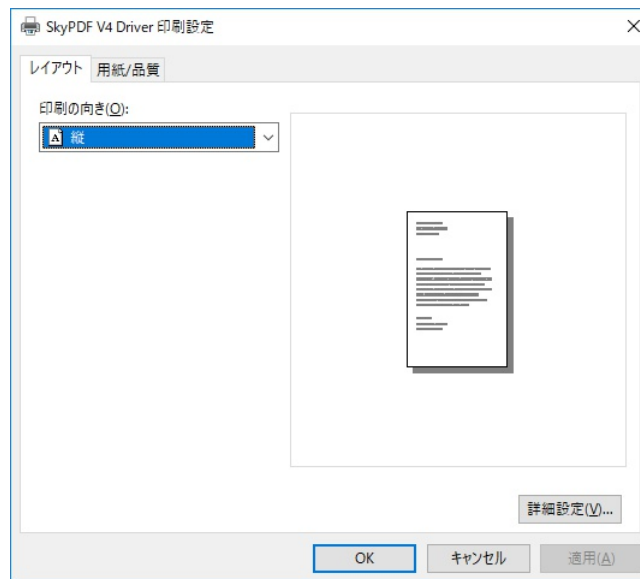
これにより、よく使用する設定をあらかじめ複数保存しておくことができます。

4 制限・注意事項

本ドライバーのご利用に際し、以下の制限事項・注意事項にご注意ください。

4.1 印刷設定画面の起動に関する事項

1. 本ドライバーの通常の設定画面ではなく、下図のような簡易的な設定画面が表示される場合、本ドライバー以外のプロセス等によってメモリが逼迫している可能性があります。一度画面を閉じ、時間をおいて、設定画面を起動しなおしてください。
なお、印刷の向き、用紙サイズ、解像度については、簡易的な設定画面からも設定可能です。



4.2 出力設定に関する事項

1. 「空白ページを除去する」設定を有効にしている場合でも、PowerPoint ファイルの空白ページは除去されません。
2. 「空白ページを除去する」設定を有効にしている場合でも、Word ファイルでは、改行文字が入っていない空白ページ（「挿入」－「ページ区切り」で作成したもの）のみ除去されます。
Enter キーを押して作成した空白ページや、空白のページ作成（「挿入」－「空白のページ」）で作成された空白ページは改行文字が入るため、除去されません。
3. 文書内リンクなどのオブジェクトが大量にあるものを元ドキュメントとした場合、「Web 表示用に最適化する」に関する処理が終了しない場合があります。

4.3 PDF 規格に関する事項

1. PDF/A として出力した PDF は、元から埋め込まれているフォントに設定されている CIDSet に不備がある場合、Adobe Acrobat XI のプリフライトが一部正常に実施されない場合があります。
2. 外字領域で文字が割り当てられていない文字コードが使われている時、PDF/A 規格の PDF 出力ができない場合があります。

4.4 品質に関する事項

1. アプリケーションや環境によって、適用される圧縮オプションの方式が異なる場合があります。
例えば、同じアプリケーションから同じ TIFF 画像を PDF に変換する場合でも、32 ビット OS では「モノクロ画像圧縮」の設定が有効になり、64 ビット OS では「カラー/グレースケール画像圧縮」が有効になることがあります。
2. 対応アプリケーションの場合でも、レイアウトやファイルサイズなどの条件により、稀に PDF の精度が損なわれる場合があります。

Visioの場合

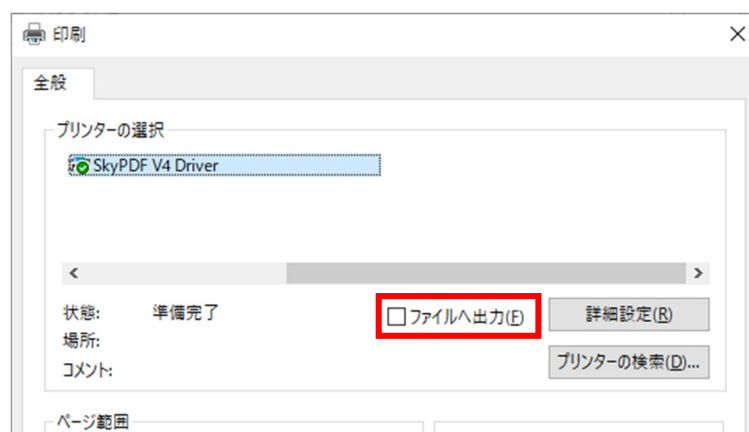
Visio で入力した Bold (太字)、Italic (斜体)、ItalicBold (太字斜体) 文字が、テキストではなくグラフィックと認識されて PDF 変換される場合があります。また、標準字体でもグラフィックとして認識される場合 (以下の例を参照) があります。

例: Visio では“MS P ゴシック”のフォントの標準字体の場合、印刷解像度 300dpi 以下では文字は全てグラフィックとして認識されます。また、印刷解像度 600dpi ではフォントサイズが 86pt 以上、1200dpi では 43pt 以上、2400dpi では 22pt 以上の文字は全てグラフィックとして認識されます。

3. Visio の場合、Visio の仕様により、印刷設定で用紙の向きを変更しても反映されません。

4.5 OS の機能に関する事項

1. OS の [ファイルへ出力] オプションを有効にして印刷を行う場合、本ドライバーの以下の設定は適用されません。
 - ・ [PDF の出力先] 設定 (参照: [3.2.1 PDF 出力設定](#))
 - ・ [同名ファイルが存在した場合の処理] 設定 (参照: [3.2.1 PDF 出力設定](#))
 - ・ [ファイル名に付与する日付] 設定 (参照: [3.2.2 出力オプション](#))
 - ・ [PDF 出力後に開く] 設定 (参照: [3.2.2 出力オプション](#))



4.6 ハイパーリンクに関する事項

1. ハイパーリンク対象文字列は 1 行のみです。
2. ハイパーリンク対象文字列の中に、下記の文字が含まれていると、その文字以降がハイパーリンク化されません。

(^ ¥ | ' "

(例) [https://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418\(VS.80\).aspx](https://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418(VS.80).aspx)
を PDF 化した場合、
<http://msdn2.microsoft.com/ja-jp/library/ms742418>
までがハイパーリンク文字列となります。

3. 一太郎の場合、e-mail アドレスの直前に文字と空白があると、空白が無視され、文字とアドレスがハイパーリンクとして認識されます。

この部分の空白が無視される

例：[e-mail ii-help@skycom.co.jp](mailto:e-mailii-help@skycom.co.jp) の場合、

"ii-help@skycom.co.jp"でなく、"e-mailii-help@skycom.co.jp"となってしまいます。

4. Visio の場合、Visio は文字データが分割されて扱われるため、PDF 作成時にハイパーリンク文字列が認識出来ません。ただし、他アプリ（Word 等）からの貼り付けであれば、ハイパーリンクが付与できます。

※ 各項目のフォントの条件を満たす必要があります

5. Excel および PowerPoint の場合、特殊記号が別のフォント扱いになるため、通常文字と特殊記号が別々の文字列になり、ハイパーリンク文字列として認識されません。

例：特殊なフォント一覧

Estrangelo Edessa, Gautami, Latha, Mangal, Raavi, Shruti, Tunga



SkyPDF V4 Driver

印刷設定マニュアル

第5版 2023年4月26日 発行